

砂川市の給与・定員管理等について

1 総括

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

区分	住民基本台帳人口 (29年度末)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 28年度の人件費率
29年度	人 17,185	千円 12,837,770	千円 402,641	千円 1,660,750	% 12.9	% 13.0

- (注) 1 人件費には、共済組合負担金及び議員・その他委員の報酬を含んでいます。
 2 記載の数値は、「地方財政状況調査」の普通会計決算によるものであり、事業費支弁にかかる職員分を含んでいます。

(2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

区分	職員数 A	給与費				一人当たり 給与費 B/A	(参考) 類似団体平 均一人当たり給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
29年度	人 179	千円 671,272	千円 99,254	千円 243,326	千円 1,013,852	千円 5,664	千円

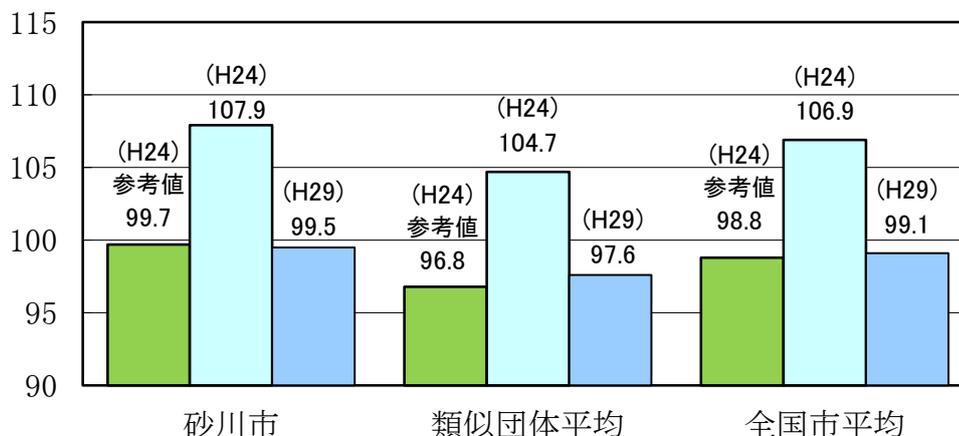
- (注) 1 職員手当には退職手当を含んでいません。
 2 職員数は、「地方公務員給与実態調査」に基づく29年4月1日現在の人数です。
 3 記載の数値は、「地方財政状況調査」の普通会計決算によるものであり、事業費支弁にかかる職員分を含んでいます。

(3) 特記事項（29年度）

（給与減額の状況）

- 55歳を超える課長職以上の職員の給料1.5%削減

(4) ラスパイレス指数の状況（各年4月1日現在）



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数（構成）を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表（一）適用職員の俸給月額を100として計算した指数です。
- 2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものです。

(5) 給与制度の総合的見直しの実施状況について

【概要】国の給与制度の総合的見直しにおいては、俸給表の水準の平均2%の引下げに取り組むとされている。

① 給料表の見直し

[**実施** 未実施]

実施内容（平均引下げ率、実施（実施予定）時期、経過措置の有無等具体的な内容（未実施の場合には、その理由））

（給料表の改定実施時期）平成27年4月1日

（内容）一般行政職の給料表について、国の見直し内容を踏まえ、平均2%引下げ。

若年層については引下げを行わない。高齢層については最大で5.7%程度引き下げる。

激変緩和のため、4年間（平成31年3月31日まで）の経過措置（現給保障）を実施。

他の給料表については、一般行政職給料表との均衡を踏まえて見直しを実施。

2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（30年4月1日現在）

① 一般行政職

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国比較ベース)
砂川市	39.7歳	305,749円	350,606円	344,722円
国	43.5歳	329,845円	—	410,940円
類似団体	歳	円	円	円

② 技能労務職

区 分 (公務員)	平均年齢	職員数	平均給料月額	平均給与月額 (A)	平均給与月額 (国比較ベース)
砂川市	—	1人	—	—	—
(うち学校事務生)	—	1人	—	—	—
国	50.7歳	2,553人	286,817円	—	328,637円
類似団体	歳	人	円	円	円

区 分 (民間)	民間の 類似職種	平均年齢	平均給与月額 (B)	参考 (A/B)
砂川市	—	—	—	—
(うち学校事務生)	—	—	—	—

区 分 (参考)	年収ベース（試算値）の比較		
	公務員 (C)	民間 (D)	C/D
砂川市	—	—	—
(うち学校事務生)	—	—	—

※ 技能労務職は該当職員が1名であるため、金額を記載しておりません。

③ 医療職

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国比較ベース)
看護・保健職	42.5歳	340,623円	353,047円	350,571円
国	47.2歳	315,014円	—	350,632円

- (注) 1 「平均給料月額」とは、30年4月1日現在における職種ごとの職員の基本給の平均です。
 2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、住居手当などの諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものです。
 また「平均給与月額（国比較ベース）」は、比較のため、国家公務員と同じベース（＝時間外手当等を除いたもの）で算出しています。

(2) 職員の初任給の状況（30年4月1日現在）

区 分		砂 川 市	国
一般行政職	大 学 卒	179,200円	179,200円
	高 校 卒	147,100円	147,100円

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額状況（30年4月1日現在）

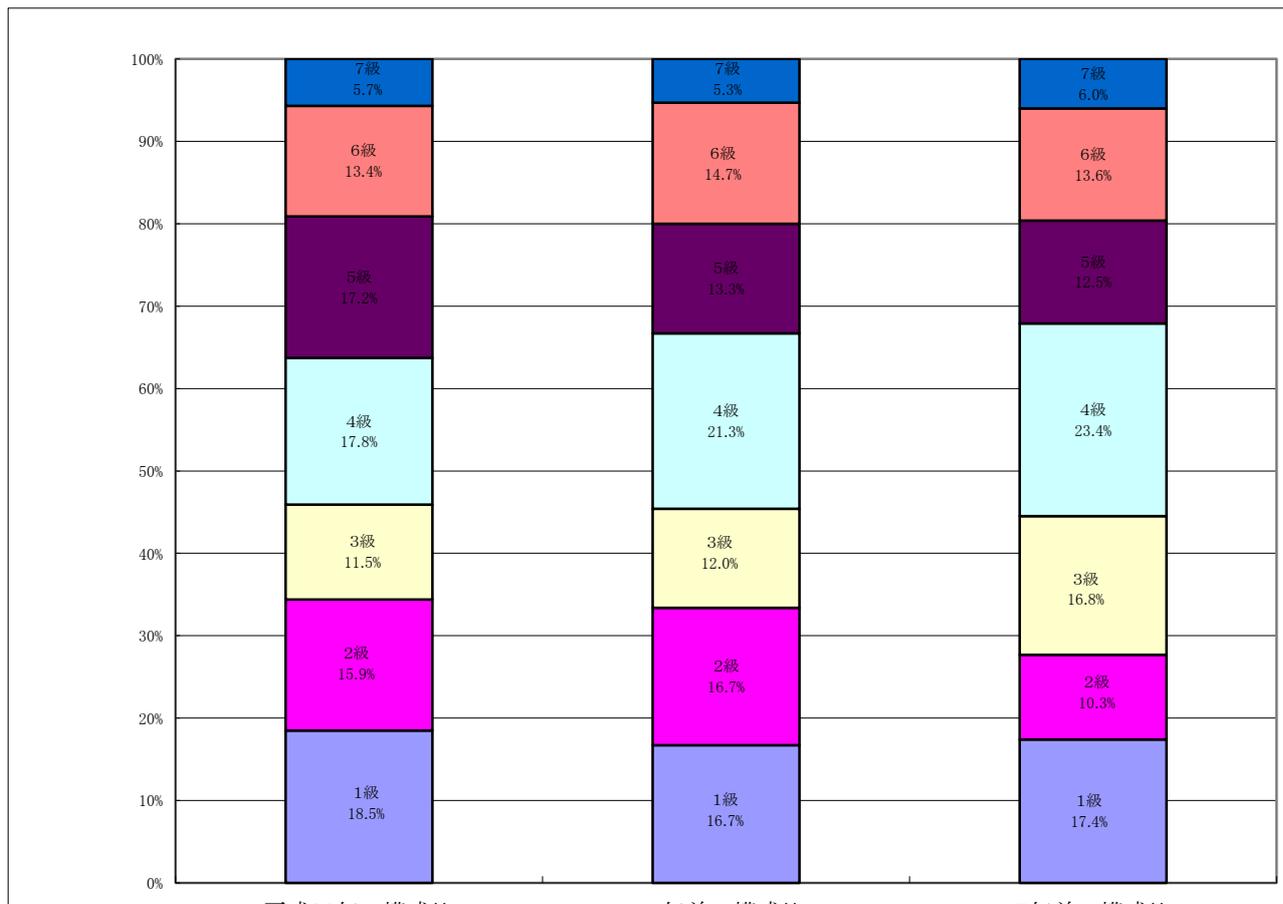
区 分		10年以上15年未満	15年以上20年未満	20年以上25年未満
一般行政職	大 学 卒	274,200円	327,300円	370,300円
	高 校 卒	239,400円	285,500円	325,500円

3 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数の状況（30年4月1日現在）

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比	1号級の給料月額	最高号級の給料月額
7級	部長、事務局長、審議監	9人	5.7%	362,300円	448,400円
6級	課長、次長、局長、副審議監	21人	13.4%	318,500円	412,800円
5級	課長補佐、主幹	27人	17.2%	288,000円	395,600円
4級	係長、主査	28人	17.8%	262,000円	388,600円
3級	主任	18人	11.5%	228,900円	354,100円
2級	知識及び経験を必要とする業務を行う主事	25人	15.9%	192,700円	303,800円
1級	主事	29人	18.5%	142,600円	247,100円

- (注) 1 砂川市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。
 2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務です。



(2) 昇給への勤務成績の反映状況

平成 29 年 4 月 2 日から平成 30 年 4 月 1 日までにおける運用	砂川市		国	
	管理職員	一般職員	特定管理職員	一般職員
イ 人事評価を実施した	○	○	○	○
標準に加え、上位及び下位の区分も適用			○	○
標準に加え、上位の区分も適用				
標準に加え、下位の区分も適用				
標準の区分のみ適用	○	○		
ロ 人事評価を実施していない				

4 職員の手当の状況（病院事業会計を除く）

(1) 期末手当・勤勉手当

砂 川 市		国	
1人当たりの平均支給額（29年度） 1,441千円		—	
(29年度支給割合) 期末手当 2.6月分 勤勉手当 1.8月分		(29年度支給割合) 期末手当 2.6月分 勤勉手当 1.8月分	
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・ 役職加算 5～15%		(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・ 役職加算 5～20% ・ 管理職加算 10～25%	

○ 勤勉手当への勤務成績の反映状況

平成29年度中における運用	砂 川 市		国	
	管理職員	一般職員	特定管理職員	一般職員
イ 人事評価を実施した	○	○	○	○
標準に加え、上位及び下位の区分も適用			○	○
標準に加え、上位の区分も適用				
標準に加え、下位の区分も適用				
標準の区分のみ適用	○	○		
ロ 人事評価を実施していない				

(2) 退職手当（30年4月1日現在）

砂 川 市			国		
(支給率)	自己都合	応募認定・定年	(支給率)	自己都合	応募認定・定年
勤続20年	19.6695月分	24.586875月分	勤続20年	19.6695月分	24.586875月分
勤続25年	28.0395月分	33.27075月分	勤続25年	28.0395月分	33.27075月分
勤続35年	39.7575月分	47.709月分	勤続35年	39.7575月分	47.709月分
最高限度額	47.709月分	47.709月分	最高限度額	47.709月分	47.709月分
その他の加算措置			その他の加算措置		
・ 定年前早期退職特例措置 (2%～45%加算)			・ 定年前早期退職特例措置 (2%～45%加算)		
1人当たり平均支給額 16,099千円					

(注) 1人当たり平均支給額は、29年度に退職した職員に支給された平均額です。

(3) 特殊勤務手当（30年4月1日現在）

支給実績（29年度決算）	510千円	
支給職員1人当たり平均支給年額（29年度決算）	72,857円	
職員全体に占める手当支給職員の割合（29年度）	3.91%	
手当の種類（手当数）	4種類	
手当の名称	主な支給対象職員	左記職員に対する支給単価
徴収手当	市税の徴収に従事する職員	月額5,500円
福祉事務手当	福祉事務所の保護事務に従事する現業職員	月額6,500円
行旅死病人取扱手当	行旅死病人の取扱いに従事した職員	死病人 1回2,000円 病人 1回1,000円
野犬掃討業務手当	野犬の捕獲・死骸処理、害虫駆除等に従事した職員	1日につき600円

(4) 時間外勤務手当

支給実績（28年度決算）	27,689千円
職員1人当たり平均支給年額（28年度決算）	162千円
支給実績（29年度決算）	25,140千円
職員1人当たり平均支給年額（29年度決算）	141千円

(5) その他の手当 (30年4月1日現在)

手 当 名	内容及び支給単価	国の制度との異同	支給実績(支給職員1人当たり平均支給年額)※29年度決算
扶養手当	▽配偶者 6,500円 ▽子 1人 10,000円 ▽父母等 1人 6,500円 (1)15歳から22歳の扶養親族 1人につき5,000円追加	同	20,767,009円 (247,226円)
住宅手当	▽住宅所有者 6,000円 ▽家賃等支払者 (1)支払月額が12,000円以上23,000円未満の場合は支払月額から12,000円を控除して得た額 (2)支払月額が23,000円以上55,000円未満の場合は、支払月額から23,000円を控除した額に2分の1を乗じ、11,000円を加算して得た額 (3)支払月額が55,000円以上の場合は27,000円	▽住宅所有者 支給なし ▽家賃支払者 同額	28,223,575円 (188,157円)
通勤手当	▽交通用具利用者(車等) 通勤距離に応じて2,000円～31,600円 ▽交通機関利用者 運賃等相当額が55,000円以下については運賃等相当額	同	3,574,855円 (35,048円)
管理職手当	▽部長職 給料月額の10% ▽課長職 給料月額の7% ▽課長補佐職 給料月額の5%	管理または監督の地位にある職員に対し、職務の級に応じて定額支給 (46,300円～146,400円)	18,105,696円 (335,291円)
寒冷地手当 (11月～3月)	▽世帯主 扶養親族がある場合 23,360円 扶養親族がない場合 13,060円 ▽その他の職員 8,800円	同	16,156,420円 (85,938円)

5 特別職の報酬等の状況（30年4月1日現在）

区 分		給 料	月 額	等
給 料	市 長	799,000円	(参考) 類似団体における最高/最低額 円 / 円	
	副 市 長	641,000円	円 / 円	
	教 育 長	561,000円	円 / 円	
報 酬	議 長	394,000円	円 / 円	
	副 議 長	348,000円	円 / 円	
	議 員	318,000円	円 / 円	
期 末 手 当	市 長 副 市 長 教 育 長	(29年度支給割合) 4.4月分		
	議 長 副 議 長 議 員	(29年度支給割合) 4.4月分		
退 職 手 当	市 長 副 市 長 教 育 長	(算定方式) ※退職手当組合加入 任期毎 在職年により 5.126～20.504月分 任期毎 在職年により 3.234～12.936月分 任期毎 在職年により 2.838～ 8.514月分		

6 職員数の状況

(1) 部門別職員の状況と主な増減理由（各年4月1日現在）

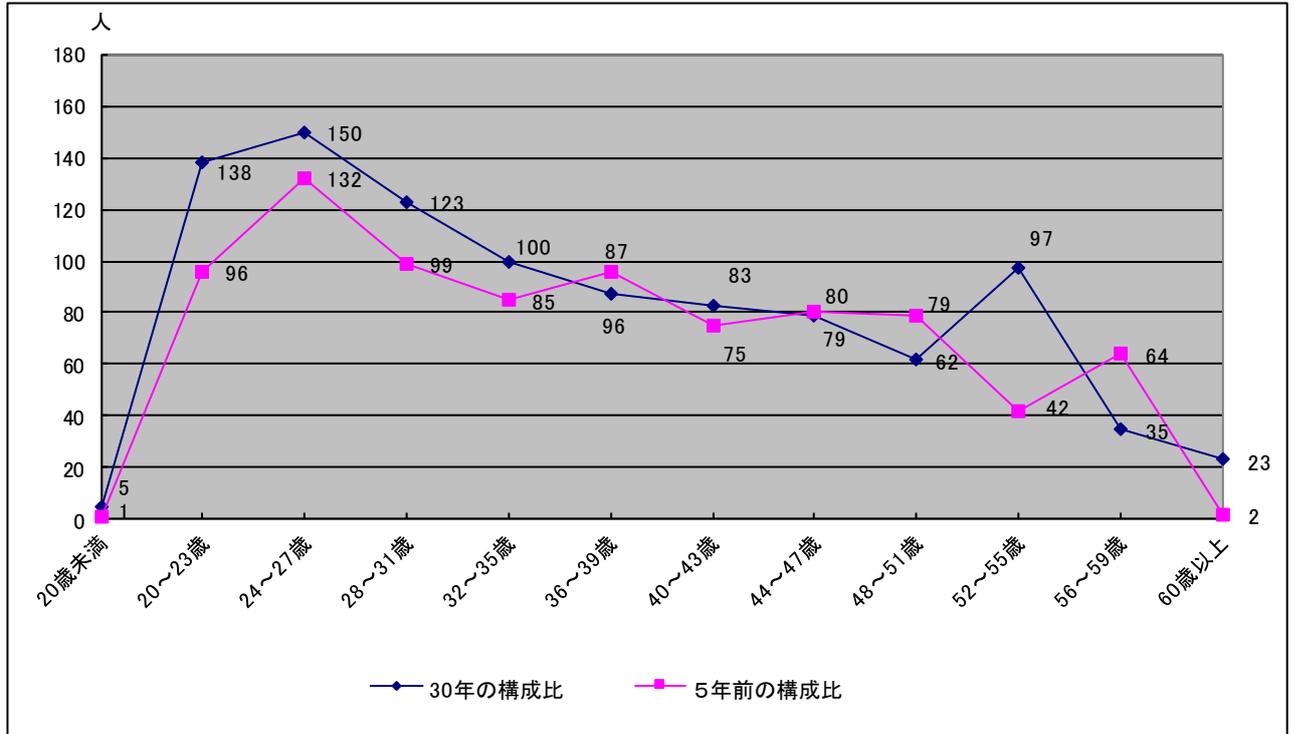
区 分		職員数		対前年 増減数	主な増減理由
		平成29年	平成30年		
一般行政部門	議 会	4 人	4 人		
	総務企画	51 人	54 人	3	新規事業の実施
	税 務	14 人	14 人		
	民 生	40 人	39 人	△1	退職者不補充
	衛 生	9 人	9 人		
	労 働	1 人	1 人		
	農林水産	8 人	8 人		
	商 工	6 人	7 人	1	業務内容の充実
	土 木	22 人	22 人		
	小 計	155 人	158 人	3	
特別行政部門	教 育	24 人	25 人	1	業務内容の充実
	小 計	24 人	25 人	1	
普通会計計		179 人	183 人	4	(参考) 人口 10,000 人あたりの職員数 106 人 (類似団体人口 10,000 人あたり 人)
公営企業等会計	病 院	750 人	784 人	34	業務内容の充実
	下水道	4 人	4 人		
	その他	11 人	11 人		
	小 計	765 人	799 人	34	(参考) 人口 10,000 人あたりの職員数 465 人
合 計		944 人	982 人 (992 人)	38	(参考) 人口 10,000 人あたりの職員数 571 人

(注) 1 職員数は、地方公務員の身分を保有する休職者、派遣職員などを含み、特別職、臨時職員、非常勤職員を除いています。

2 () 内は、条例で定める定数の合計です。

(2) 年齢別職員構成の状況（30年4月1日現在）

区分	20歳未満	20歳～23歳	24歳～27歳	28歳～31歳	32歳～35歳	36歳～39歳	40歳～43歳	44歳～47歳	48歳～51歳	52歳～55歳	56歳～59歳	60歳以上	計
人数	5人	138人	150人	123人	100人	87人	83人	79人	62人	97人	35人	23人	982人



(3) 職員数の推移

(単位：人・%)

部門別	25年	26年	27年	28年	29年	30年	過去5年間の増減数(率)
一般行政	144	145	151	149	155	158	14(109.7%)
教育	26	24	23	23	24	25	△1(96.2%)
消防							(%)
普通会計計	170	169	174	172	179	183	13(107.7%)
公営企業等会計計	682	687	700	729	765	799	117(117.2%)
総合計	852	856	874	901	944	982	130(115.3%)

(注) 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。